

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	13	0401	花と緑の創出事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	花いっぱい運動の推進					
対象	市民、事業者					
意図	1年を通して花と緑にふれあう場をつくる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 花いっぱい運動の展開 ・市内の花壇への花苗供給 ・花づくり講習会の開催 <input type="checkbox"/> 花と緑のまつり2015の開催 ・開催日 6月12日～14日 <input type="checkbox"/> 花と緑の会への活動支援 <input type="checkbox"/> 公共緑化業務等 ・維持管理（5箇所） ・病虫害防除（アメリカシロヒトリ防除）						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	花苗の供給数	千本	計画	400	400	
			実績	250	246	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	花壇実践登録件数（花苗供給を受けた団体・個人）	件	目標	350	350	
			実績	339	343	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
成果指標については、これまで花壇実践登録団体（花苗供給を受けた団体）を対象としていたが、花苗配付の対象者は、団体・個人を問わないことから、花壇実践登録件数（花苗供給を受けた団体・個人）に見直した。 目標値については、平成26年度まで花壇の実践団体数が300団体前後で推移してきたこと、花壇実践者の高齢化が進んできていることなどから、現状維持を努める現実的な目標値として350件を設定した。 平成27年度は若干増加したものの目標数の達成には至らなかった。今後もPR等を行いながら担い手の育成の支援する必要がある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市総合計画でも花のあるきれいなまちづくりを施策の1つとして位置づけており、市の関与は妥当。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	花壇実践者や関連団体会員の高齢化が進んでいるので、PR等を行いながら、担い手の育成の支援する必要がある。実践者花壇の紹介や活動状況のPRを工夫することにより向上を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	事業費については、花苗供給方法の見直しを図っており、これ以上の削減余地はない。また、職員は当該事業を実施するための最低限の事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	事業は、全市民、市内全域を対象としていることから、公平・公正である。まつりについても、対象を特定しておらず、公益性にも配慮した内容で公平・公正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
・花壇実践者や関係団体の協力を得て、花いっぱい運動を推進し、花のあるきれいなまちづくりが実践ができた。 ・花と緑のまつりを開催し、市民に花を身近に感じる機会を提供すると、花いっぱいのまちづくりや環境保全への意識啓発が図られた。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 似内 泉 内線 255

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	13	0401	花と緑の創出事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		12,455	12,634		179
財源内訳	国・県	7,600	7,600		
	地方債				
	その他		160		160
	一般財源	4,855	4,874		19

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標  
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています

事業開始の背景・経緯

昭和45年の岩手国体の開催にあたり、沿道に花壇を整備し、全国から訪れた選手団や関係者を花で迎えたことを契機に始まった。その後、昭和47年から市の名前にふさわしい花いっぱいのもちづくりを推進している。

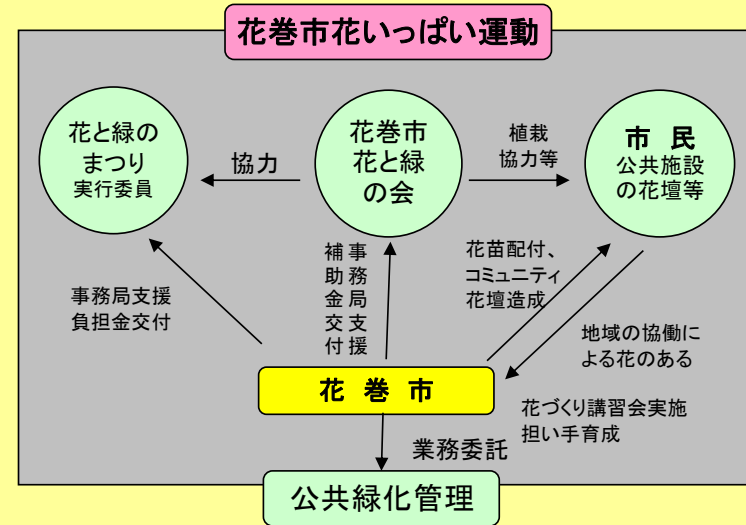
事業概要

- 花いっぱい運動の展開
  - ・市内の花壇への花苗供給
  - ・花づくり講習会の開催
- 花と緑のまつり2015の開催
  - ・開催日 6月12日～14日
- 花と緑の会への活動支援
- 公共緑化業務等
  - ・維持管理 (5箇所)
  - ・病虫害防除 (アメリカシロヒトリ防除)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・「花いっぱい運動」を推進する各種団体、個人等から花苗配布事業の継続を要望されている。
- ・花と緑のまつりの開催については、来場者から毎年楽しみにしている等の意見があり、好評を得ている。
- ・花壇実践者や協力団体会員の高齢化が進んでいることから担い手の育成が必要である。
- ・支援団体である花と緑の会については、運営補助と事務局支援を行っており、会の自主性を促すためにも将来的に事務局移管が必要であるが、高齢化により難しい状況にある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



【事業費内訳】

- 花と緑のまつり実行委員会負担金 4,000千円  
6月12日～14日 実行委員会負担、事務局支援
- 花巻市花と緑の会運営補助金 100千円  
花と緑の会の花いっぱい運動の推進活動を補助支援
- 花苗配布委託 4,746千円  
市内の花壇実践者への花苗の申込受付、供給
- 花づくり講習会 0千円  
播種、花植等についての講習会を実施し、苗を育てる方法を伝播し担い手を育成
- 美化推進関連業務委託料 3,092千円
  - ・公共緑化木病虫害防除業務委託(アメリカシロヒトリ防除)
  - ・公共緑化管理業務(胡四王山ボタン園、豊沢川桜並木、奥州街道名残の松冬季管理、桜町ロータリー芝地管理、東和地内環境整備、コミュニティ花壇造成)
- その他美化推進関連事業事務費等 696千円